



昼の部 19名 夜の部 17名

1、まずは、自己紹介+本紹介タイム!

最近読んだ本、子供に読み聞かせた本、思い出の本など、なぜその本を選んだのかを伝えることで、その人がどんなことに興味があるのかを知ることができ、より親睦を深めるきっかけになるだろうと思って行っています。

紹介された本:『子どもの書』／『ワカコ酒』／子どもに読んだ宇宙の本／息子たちのためのお弁当の本／『論語と算盤』／魔女の本／加古里子の本／雨宮処凛の本／『コーヒーハウス』／万葉集／パソコンマニュアル本／スポーツ選手の自伝／『ヒロのちつじょ』／『バナナじゃなくて banana チャンツ』／四国遍路／『鍵屋甘味処改』／『巣鴨日記』／『さあ、宇宙人の声を聞きなさい』／『おしっこちょっぴりもれたろう』／デジタル書籍／『東大生となった君へ』／『99.9%は仮説』／『向田理髪店』／『夢は僕らのロケットエンジン』／『身近な鳥のすごい事典』／『ディズニー サービスの神様が教えてくれたこと』／羽生善治の本／『火花』

2、実施報告

(1)チカホ出張販売に行ってきました!

- ・石橋さんの感想:目標は1冊でしたので、2冊売れて目標達成です。札幌では本好きな方が立ち読みしたり、チラシを直接手渡しして説明することができ、交流できました。
- ・古谷さんの感想:北海道ブックシェアリングと交流できたことがよかったです。まちライブラリーのチラシのデザインも褒めてもらいました。
- ・本に関心ある人も多く、札幌でまちライブラリーの活動を紹介する意味を感じました。

(2)古本市を行いました!

- ・出店者からは毎月1回でもやってほしいとの声もありました。
- ・千歳に古本屋はないので、本好きな人は常設で古本コーナーがあれば寄ると思う。
- ・出店小規模で回数を多くやっていけたらいいと思う。対面販売の魅力。
- ・古着やリサイクル品の販売も行えば、ライブラリーにも寄りやすいと思う。
- ・出店者は継続出店が多く、協力してくれています。

(3)夏休みイベント企画進行中です！

- ・前は段ボールハウスや新聞プールなど子どもたち向けの催しを用意しました。子どもに楽しんでもらって、一緒に親も来てくれることでまちライブラリーのことを知ってほしい。
- ・協力してくれる方募集しています。

(4)「千歳の幸せ図鑑」を発行しました！

地図づくりは、カウンターによく問合せのある「近隣でおススメ店は？」に答えるために始まりました。まずは、徒歩5分10分の近隣店情報を充実させ、それから特集を組む・範囲を広げるなど行っていきたくと考えています。

- ・協力店舗の表記が分かりにくいので、次号からは一覧にまとめた方がいい。
- ・地図づくりを通して地域との交流のきっかけになっている。
- ・QRコードをのせると画期的に思える。
- ・情報が増えてきたら、アプリを利用してもいいと思う。
- ・シンプルな地図でとても分かりやすい。未成年も楽しめる店も紹介してほしい。
- ・営業時間など基本情報は共通で書いてほしい。
- ・毎週土曜日のワークショップの様子をまとめたノートを作成しました。
- ・これから色々な特集を計画していきたく。
- ・知っているお店だけでなく、自然の情報などがとってもいいと思う。
- ・クイズ募集BOXを設置して行っています。
- ・配布をしっかりしていきたく。
- ・まちライブラリーのロゴを入れた方がいい。
- ・知り合いの人にお店がPRできることを口コミしてほしい。
- ・英語バージョンもあったらいいね。
- ・掲載店に行ってきました！のレポートもあればいいね。
- ・「千歳の幸せ図鑑」の取材を受けた側としては、取材にきていただけるとどのような活動をしているのか伝えやすい。改めて自分たちの活動を考えた。
- ・大阪のTAMATUKURI BR0THRSの地図を参考としていますが、千歳のライターは紹介文がまだまだ辛口とは言えませんね。大阪では辛口コメントが面白いと評価されているんです。少しずつlevelを上げて面白い地図を作っていきたい。
- ・直接来館して取材したり、まちライブラリーでサポーター会議に出席するために来館するなど「行く」「足を運ぶ」ことの大切さを感じています。

Qライターさんが気を付けていることはなんですか？

- ・電話をして、まちライブラリーでしていることを説明して取材交渉しています。
- ・事前に連絡していると、店長だけでなく他のスタッフとも話ができるきっかけに。
- ・誰でもライターになれますので、挑戦してみてください。ライターセットはカウンターでお渡ししています。
- ・フランスでは、学生が作成したMAPが一番の需要がある事例も。

Q 初めて、千歳タウンプラザにきてみてどうですか？（参加した学生に聞いた）

- ・建物入る前は、こんなに本があるなんて思わなかった。
- ・新しい本ばかりでないのが面白い。
- ・文庫本だけでなく、生活に役立つ一般書も多くてびっくりしました。

→学生が、まちライブラリーを口コミすることで学生層の広がりが得られると思う。

学生が口コミしない原因はなにか。遠い？

※科学技術大学では、カスタマージャーニーマップの作成を行っています。

※大谷大学では、FAUN という街歩きの企画を予定しています。

(5)チラシ・パンフレットコーナーを充実させていきたい！

まちライブラリーから「チラシ置きませんか？」と営業をかけてみました。ご理解と協力でコーナーがどんどん拡大されています。

- ・いろいろなイベント情報がまちライブラリーには集まっているということで集客につながればいい。
- ・使う人は個人なので、個人が作成している MAP の方が使いやすいのかも。
- ・旅先では、ネット情報に頼りがちだけど人の顔がみえる地図は面白い。
- ・ショップカードは小さくて、レイアウトもおしゃれなものがおおいので何かヒントになると思う。

(6)巨大地図は撤収します！

・巨大地図については、直接書き込みできるようにしたことによって子どもたちの落書きや移動などの困ったことがあったので、来月は切り替えていきたいと思います。

(7)BGM の変更について意見を聞かせてください！

BGM がずっと同じなので変えてみようかという意見があり、掲示板でアンケートを行いました。結果、ジャズが多い。

- ・その場で公開投票してもジャズが人気でした。イベントとコラボレーション企画で BGM を変えるなど今後考えていきたいと思います。
- ・時報のお知らせ、ライブ音源など利用者を巻き込んだイベント企画を行ってみたいと思います。

(8)HP や Facebook をぜひチェックしてみてください！

HP は千歳の特色を工夫してみました。

- ・どんどん変わっていかないとね。タイトルのフォントは変えた方が目にとまると思う。
- Facebook は毎日なにか情報を発信したくて、初めてくる人や道外の人にも見るので、北海道らしさをアピールしたいと思っています。

- ・更新回数も多くなったし、見やすくなったと思っていました。
- ・シェアしてくださいね。

★Facebook を見て、サポーター会議に初めて参加しました。HP もチェックしているのですが、グーグルのイベントカレンダーの情報がわかりにくいと感じています。イベント内容がもっと分かりやすければ参加につながると思います。

- ・企画者がどんな人なのか、どのようなイベントなのか、もっと詳しく情報が欲しい。
- カレンダー情報は、イベント主催者の申請書の原稿をそのまま転記しています。
- もっとまちライブラリースタッフの言葉で紹介してみたらいいと思います。雑感が必要。
- イベントカレンダーや「千歳の幸せ図鑑」もダウンロードできるようにしてみてもどうか。

(9)廊下展示も毎週のように入れ替えされています。

ライブラリーの中には入らないけど、廊下を通り抜けて利用する人は多いので、その方たちに向けたアピールとして掲示しています。少しずつ外への発信を行いたいと思っています。趣味の写真展示、イベントレポートの展示も行っています。

Q、イベントを通年開催されて、何か変化はありましたか？

- ・廊下のイメージが変わったという印象はあります。
- ・最初は奥のスペースで開催していて、入り口近くに移動して開催すると様々な人がここを利用しているということがわかりました。イベントにも関心をもってくれます。廊下の展示も見ています。

(10)来館者へのききとりアンケート調査より

ここの役割：みんなの居場所、居心地のよさ、活躍できる場所、明るいイメージ
改善点：ここってなに？まだまだやっていることが伝わっていない。

(11)小学生の見学会を行って

子どもたちの見学会を通して、もっと「視察対応します、まちライブラリーを紹介するツアーします」というようなスタッフ側からのPRをすることで、聞いてみたい人にまちライブラリーのことを深く説明できるのではないかと思います。

- ・子どもたちは、ピッピに来たことがある子や本を読みまちライブラリーに来たことがある子もいました。しかし、見学会を行ったことでより自分たちも言ってもいい場所として認識されたと思います。

出入りの多い場所ですが、その人たちの心をつかむ何か一つ（本、展示、BGM、人など）があればもう一度来たいとってくれるリピーターにつながると思います。その工夫を今後も続けていきます。

以上